
博物館学の国際学術研究大会 MUSEUM 2015

自己変革する博物館－変化し続ける組織づくり

研究発表の募集について

このたび、下記の通り、イギリスのレスター大学等と共催で、東京で「Museum 2015」を開催いたします。

「Museum 2015」とは、博物館の専門家や政策立案者、研究者、学者、そして学生とともに、博物館の変革について探求するフォーラムで、世界中からおおよそ 200 人の博物館学の研究者が集います。

本フォーラムでは、セッションテーマに基づく課題を、国際的な視野で設定し、論文の執筆ならびに研究の発表を募集いたします。

大会の詳細と発表申し込み方法の詳細につきましては、下記HPをご覧ください。

Museum 2015 大会HP : <http://themuseum2015-tokyo.jp/index.html>

記

1. 主催

Museum 2015 実行委員会、明治大学文学部、レスター大学博物館・ギャラリー研究センター、国立?北教育大学、大妻女子大学、全日本博物館学会、東京国立博物館、国立歴史博物館、大妻女子大学博物館

2. 共催

公益財団法人日本博物館協会、全国大学博物館学講座協議会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本展示学会

3. 日程

平成 27 (2015) 年 1 月 13 日 (火) ～16 日 (金) (研究発表は 14 日・15 日)

4. 会場

明治大学駿河台校舎 ほか

5. テーマ

自己変革する博物館－継続的な変化に対応できる組織づくり

The Agile Museum : building institutions for continual change

(セッションテーマ 1) **Agile Management**

変革するマネジメントとは

(セッションテーマ 2) **Agile Relationships**

変革する関係性とは

(セッションテーマ 3) Agile Collections : Open content, linked and flexible standards
変革するコレクションとは：データの公開と柔軟な基準

(セッションテーマ 4) Agile Communication : Realizing new exhibition theory
変革するコミュニケーションとは：新たな展示理論を求めて

6. プログラム

- 1月13日(火) 開会式、基調講演、歓迎会
14日(水) テーマ・セッション1・2
15日(木) テーマ・セッション3・4、送別会
16日(金) エクスカーション

7. 対象

博物館関係者、博物館学を担当する教職員、博物館学専攻または学芸員養成課程を受講する大学・大学院生等

8. 言語

英語及び日本語(同時通訳付き)

9. 研究発表募集の概要 [申込期限：2014年9月26日(金)]

- ◆ 応募に際しては、「募集要項」と「Museum 2015 研究発表申請書」をダウンロードしてください。
- ◆ 募集要項をご確認の上、「Museum 2015 研究発表申請書」の項目を全てに記入のうえ、メールにて Museum 2015 実行委員会事務局 (museum2015japan@gmail.com) へお送りください。
※件名を「Museum 2015 研究発表申込 (お名前)」にしてください。
※郵送・FAX 等での申込受付は行っていません。
- ◆ 「Museum 2015 研究発表申請書」には、発表題目(英文の表題も必須)、発表者(ローマ字併記)、所属先/職名、E-mail、発表希望セクション、発表要旨(要旨は500字以内。段落の行間は1行とする)、キーワード(5つ以内)の全てを記載いただき、9月26日(金)までにメール添付にて送信ください。審査のうえ、研究発表のご依頼は10月10日(金)頃に、「Museum 2015 研究発表申請書」にご記載いただいたメールアドレスにお送りいたします。
※エントリー後の「Museum 2015 研究発表申請書」の内容の変更は認められません。
- ◆ 発表20分・質疑応答5分

詳細はHPをご覧ください。<http://themuseum2015-tokyo.jp/index.html>

10. お問い合わせ

ご不明な点は、下記メールアドレスにお問い合わせください。

Museum 2015 実行委員会事務局： museum2015japan@gmail.com